

プログラム

2025 年春季大会
(立命館大学 衣笠キャンパス)

企画委員会

6月7日 土曜日

9:00 受付

午前の部 10:00～

個人共同研究発表 1

司会者：石川徳幸（日本大学）、工藤文（金沢大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	戒厳令期台湾における世論調査史：中華 民国民意測驗協会を中心に	比護遙（金沢大学）
10:30-11:00	フランス極右とメディアの公共圏の歴 史的分析	本間圭一（東洋大学）
11:00-11:40	インド総選挙の新聞報道に見るメデ ィア倫理の特徴 世界最大の選挙の伝 わり方と日本の選挙報道を比較して	引地達也（フェリス女学院 大学） アルン・プラカシュ・デゾー サ（上智大学）

個人共同研究発表 2

司会者：佐藤信吾（大妻女子大学）、小川明子（立命館大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	ファンの愛と SNS 上の戦術——ライブ 会場内でのチケット取引を事例に	小埜功貴（東京科学大学大 学院 院生）
10:30-11:00	生成 AI の利活用がもたらす新たな社会 変革の現在地——マスメディアとエンタ メ・クリエイティブ産業を中心に——	華金玲（慶應義塾大学）
11:00-11:30	“クリエイター”に内在するプラットフォ ームの政治経済性——TikTok ジャパンの 対クリエイター施策の分析を通じて——	吉川昌孝（京都精華大学）

個人共同研究発表 3

司会者：勝野宏史（同志社大学）、新嶋良恵（十文字女子学園大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	男性への同情と女性への非難——無差別・ 通り魔事件の加害者のジェンダーによ る語られ方の違いに注目して——	江原優美子（東京大学大学 院 院生）
10:30-11:00	1970 年代の総合雑誌における知識人の 発言特性 —— 言説分析を通じた象徴資	王昕珣（上智大学大学院 院生）

	本の考察	
11:00-11:40	MCDA (Multimodal Critical Discourse Analysis) の理論的背景と有効性	竹田恵子 (東京外国語大学) 有馬明恵 (東京女子大学)

ワークショップ 1

企画：奥村信幸会員

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	Z世代に対するメディアと連携したファクトチェック教育実践の試み～Instagram/TikTok を使った MediaWise 日本版を視野に	司会者・問題提起者：奥村信幸 (武蔵大学) 討論者：足立義則 (NHK)

ワークショップ 2

企画：飯田裕美子会員

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	「ニュースルームに多様性を」 現場からの取り組み	司会者：飯田裕美子 (共同通信社) 討論者：秋山理砂 (神奈川新聞社) 討論者：青木紀美子 (NHK)

ワークショップ 3

企画：メディア史研究部会

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	技術と産業のメディア史—インフラストラクチャーの雑誌研究にむけて	司会者：新倉貴仁 (成城大学) 問題提起者：水田綾奈 (慶應大学大学院 院生) 討論者：長谷川一 (明治学院大学)

ワークショップ 4

企画：ネットワーク社会研究部会

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	学術情報におけるアクセシビリティの確保と情報保障—視覚障害当事者の研究体験をもとに提案と討議	司会者：植村八潮 (専修大学) 問題提起者：植村要 (国立国会図書館) 討論者：平山亮 (大阪工業大学)

(11:00-12:00 第 39 期理事会)

午後の部

- 12:10-13:00 会長挨拶、総会、受賞式
 13:00-14:10 昼休み (13:10-14:00 第40期第1回理事会、会長選挙)
 14:10-14:40 再開総会、開催校挨拶、新会長挨拶

夕方の部 15:00-17:30

シンポジウム

時間	テーマ	登壇者(調整中)
15:00-17:30	メディア研究にとってのインターネット史ーメディア化する政治を事例としてー	問題提起者 津山恵子(フリージャーナリスト) 伊藤昌亮(成蹊大学) 討論者 喜多千草(京都大学) 烏谷昌幸(慶應義塾大学) 司会者 山口仁(日本大学) 別府三奈子(法政大学)

17:45-19:15 懇親会

6月8日 日曜日

午前の部 10:00～

個人共同研究発表4

司会者：小寺敦之(東洋英和女学院大学)、調整中()

時間	テーマ	発表者(所属)
10:00-10:30	震災を語るメディア実践の質的分析～語りにくさを乗り越える「わすれン！録音小屋」を題材に	小野洋文(東北大学大学院院生)
10:30-11:00	高齢者におけるデジタル技術利用の規定要因：社会的認知理論に基づく統合的分析	竹村朋子(立命館大学)
11:00-11:30	メディアを通じたニュースへの接触有無が政治知識量に及ぼす影響の研究	長濱憲(東京大学大学院単位取得退学)

個人共同研究発表5

司会者：日高良祐(京都女子大学)、別府三奈子(法政大学)

時間	テーマ	発表者(所属)
----	-----	---------

10:00-10:30	自衛隊退職者団体の機関紙における政治的主張の表出と抑制――自衛隊の当事者性を前提とした代弁者という自己認識に着目して――	津田壮章（京都大学大学院）
10:30-11:00	深夜番組の特性はいかに捉えられてきたか―新聞と雑誌の分析を通じて―	今城和香（立命館大学大学院 院 院 生）
11:00-11:30	戦友会会誌のメディア的特徴と組織文化―陸海軍士官戦友会の事例から	角田燎（立命館大学）

個人共同研究発表 6

司会者：坂田邦子（東北大学）、湯本和寛（信越放送）

時間	テーマ	発表者（所属）
10:00-10:30	放送労働者の主体化 テレビドキュメンタリーの再生産	迫川緑（関西テレビ放送）
10:30-11:00	グローバリゼーションと Distant Suffering（遠くの苦しみ）―朝日新聞と読売新聞における海外の自然災害に対する報道及び社説の分析―	呉紫涵（東京大学大学院 院 院 生）
11:00-11:30	ベトナム戦争において北ベトナムはどう記録されたのか--日本電波ニュース社の取材フィルムに関する研究	朱子奇（東京大学大学院 院 院 生）

ワークショップ 5

企画：倫理法制研究部会

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	マスメディアとソーシャルメディアの共創／競争のあり方	司会者・討論者：水谷瑛嗣郎（慶應義塾大学） 問題提起者：成原慧（九州大学）

ワークショップ 6

企画：谷島貫太会員

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	メディア研究にとって流通とはどのような問いか？：メディア空間の存在論に向けて	司会者：柴野京子（上智大学） 問題提起者：近藤和都（立命館大学） 問題提起者：谷島貫太（二松学舎大学） 討論者：丸山友美（静岡大学）

ワークショップ7

企画：ジェンダー研究部会

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	生活情報番組におけるケアのジャーナリズムと真正性～あさいちの実践を通して～	司会者：治部れんげ（東京科学大学） 問題提起者：坪井健人（NHK） 討論者：田中瑛（実践女子大学） 討論者：溝上由夏（テレビ朝日）

ワークショップ8

企画：ジャーナリズム教育・研究部会

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	兵庫県知事選挙と報道・SNS：利用メディア調査と現場報告を軸に	司会者：神谷説子（一般財団法人 INSTeM） 問題提起者：前川茂之（神戸新聞） 討論者：澤康臣（早稲田大学）

ワークショップ9

企画：永井健太郎会員

時間	テーマ	登壇者
10:00-12:00	ポスト・マスメディア時代に環境問題をどう伝えるか：「個」のメディア表現者らの経験より	司会者：洞ヶ瀬真人（福山大学） 問題提起者：大原尚之（北海道大学） 問題提起者：香室結美（熊本大学） 問題提起者：長山智香子（名古屋大学）

12:00-13:00 昼休み （第40期第2回理事会）

ポスターセッション

コアタイム 12:00-13:00（他の時間帯でも展示している場合があります）

時間	テーマ	発表者（所属）
12:00-13:00	日本のファッションメディアにおけるジェンダーニュートラルなインフルエンサーの可視化	清水愛華（立命館大学院 院生）
12:00-13:00	1970年代以降の日本における男性の美	渚夏葉（筑波大学大学院 院

	容行動の変遷—男性雑誌の広告を中心として—	生
12:00-13:00	中国のソフトパワー戦略におけるパンダキャラクターの活用——成功事例『カンフー・パンダ』と『パンダコパンダ』の中国国内評価の分析——	LU QI（文教大学大学院 院 生）
12:00-13:00	「新聞販売店」の過去と未来	小島真由香（立教大学大学院 院 生）
12:00-13:00	中国での検閲コンテンツとファンの戦術についての考察	張馨予（東京大学大学院 院 生）
12:00-13:00	アジア・太平洋戦争のテレビ・ドキュメンタリーと制作者	加藤直（聖心女子大学大学院 院 生）
12:00-13:00	K-POP トランスメディアコンテンツ満足度がユーザーの行動意図に及ぼす影響—アイドルブランド認知度を調整変数として—	權永慶（北海道大学大学院 院 生）

午後の部 13:00-15:00

個人共同研究発表 7

司会者：西田善行（流通経済大学）、佐藤信吾（大妻女子大学）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:00-13:30	コミュニケーション施策としての社内報の理解可能性——1950 年代の経営論テキストにおける社内報の提示の分析——	宮崎 悠二（京都文教大学）
13:30-14:00	特殊撮影技術のメディア史——戦時期の円谷英二の戦争映画を中心に	大月功雄（立命館大学）
14:00-14:30	日本における〈ヒューマンドキュメンタリー〉の系譜学：1970 年代のテレビドキュメンタリーの映像テキスト分析を中心に	万里 Madeno（映像研究者）
14:30-15:00	「墮胎罪」報道に生成される女性の中絶スティグマと反抗の可能性	陸晨思（上智大学大学院 院 生）

個人共同研究発表 8

司会者者：丸山友美（静岡大学）、調整中（〇〇）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:00-13:30	貧困報道による女性貧困者の選別的な可視化——貧困に関するテレビ・ドキュメンタリーを対象に——	馬琳（東京大学大学院 院 生）
13:30-14:00	ユビキタス大統領制の時代における大統領就任演説— 2025 年トランプの就任演説を事例に	小川凜（明治大学大学院 院 生）

14:00-14:30	「開かれたテキスト」としてのファン活動：メディア研究の観点からみたK-POPファンダムの抗議活動	郭 善英（静岡大学）
-------------	--	------------

個人共同研究発表 9

司会者者：塚田修一（相模女子大学）、調整中（〇〇）

時間	テーマ	発表者（所属）
13:00-13:30	米『ブルーブック』から日本の放送が得たもの―戦後日本の放送は何を得て何を捨てたのか―	立岩陽一郎（大阪芸術大学短期大学部）
13:30-14:00	「持続可能なメディア」の5原則	下山進（聖心女子大学）
14:00-14:30	SNS における投稿管理と国際人権法の原理の適用	谷川幹（国際教養大学）

ワークショップ 10

企画：橋本純次会員

時間	テーマ	登壇者
13:00-15:00	メディアと市民の信頼関係〈再〉構築に向けて	司会者者：坂田邦子（東北大学） 問題提起者：橋本純次（社会構想大学院大学） 問題提起者：久保田彩乃（福島大学） 討論者：脇浜紀子（京都産業大学）

ワークショップ 11

企画：放送研究部会

時間	テーマ	登壇者
13:00-15:00	S N S 時代の選挙とテレビ報道	司会者者：音好宏（上智大学） 問題提起者：曹琴袖（TBS） 討論者：渡邊久哲（上智大学）

ワークショップ 12

企画：森類臣会員

時間	テーマ	登壇者
13:00-15:00	韓国「内乱」事態をどう見るか：メディアと世論のダイナミックスを眺めて	司会者：森類臣（摂南大学） 問題提起者：黄盛彬（立教大学） 討論者：孫石熙（ジャーナリスト、立命館大学産業社会学部客員教授） 通訳：趙相宇（立命館大学）

ワークショップ 13 (企画：国際委員会)

13:00-15:00	「2022 年の難民危機と日本・ポーランドによるウクライナ支援を振り返る：メディアネットワークの役割」	司会者・討論者：オルガ・ア ンナ・バルバシェヴィッチ (SWPS 大学・青山学院大 学) 企画者・討論者：イウォナ・ レジーナ・メルクレイン (青 山学院大学)
-------------	---	--

ワークショップ 14 (企画：理論研究部会)

13:00-15:00	メディアと環境-映画フィルムの原材料のグローバルな流通に注目して	司会者：梅田拓也 (同志社女 子大学) 問題提起者：マレック・ヤン コヴィッチ (アムステルダ ム自由大学) 討論者：大久保遼 (明治学院 大学)
-------------	----------------------------------	---

夕方の部 15:15-17:45

シンポジウム

時間	テーマ	登壇者
15:15-17:45	「障害」をめぐるメディア研究の展開	報告者 塙幸枝 (成城大学) 樋口麻里 (北海道大学) 柴田邦臣 (駒沢大学) 討論者 田中瑛 (実践女子大学) 美馬達哉 (立命館大学) 司会者 飯田豊 (立命館大学) 藤嶋陽子 (立命館大学)